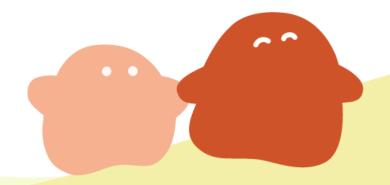


2025年3月期 決算プレゼンテーション資料





1 トップメッセージ

03-04

2 中期経営計画進捗

05-15

3 連結決算概況

16-23

4 アイフル決算概況

24-32

5 グループ各社決算概況

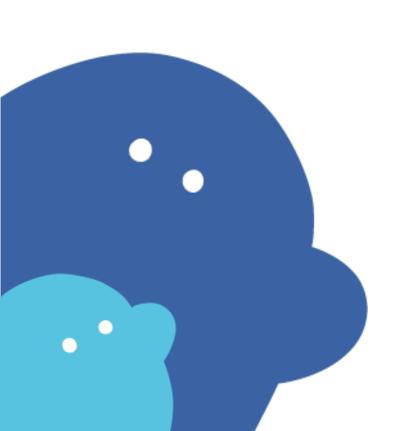
33-40

参考資料

41-47

(ご参考) 中期経営計画

https://www.aiful.co.jp/group/ir/pdf/MP2024.pdf



1 トップメッセージ

2025年3月期【総括】



- 残高・トップラインは2桁成長、中期経営計画の初年度は計画を上回る
- 実績を踏まえ、中期経営計画の達成確度高まる、2026/3期は経常利益300億円を計画

単位:億円	24/3	25/3 (E) 修正目標	25/3	前期比 増減率	26/3(E)	前期比 増減率
営業債権残高	11,789	13,224	13,397	13.6%	14,930	11.4%
営業収益	1,631	1,885	1,890	15.9%	2,107	11.4%
営業利益	210	238	253	20.1%	295	16.6%
経常利益	220	240	268	21.5%	300	11.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	216	225	3.2%	238	5.7%
調整後営業利益*	408	403	416	3.9%	-	_

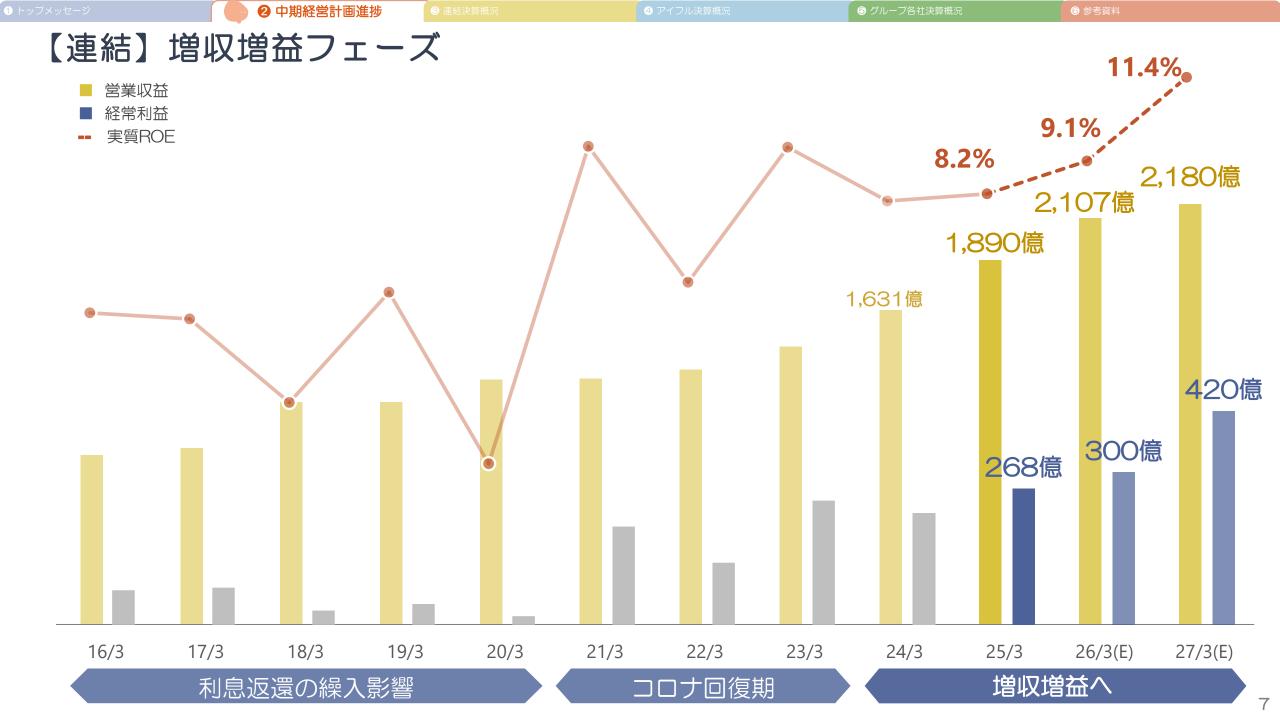


2 中期経営計画進捗

中期経営計画 進捗

• 中期経営計画で掲げた各指標も順調に進捗

				中期紹	経営計画(公表ベー	-ス)
	項目	24/3	25/3	25/3 (E)	26/3 (E)	27/3 (E)
4 ∇	ROA (%)	1.9	2.0	1.8	2.0	2.5
経営指標	実質ROE (%)	8.0	8.2	8.0	9.1	11.4
	自己資本比率(%)	15.6	15.0	15.2	15.1	15.5
経営	M&A 投資額 (億円)	_	100	3年間	<u>最大600</u>	<u>億円</u>
略	コスト削減額(億円)	_	8	9 <u>3年間ト</u>	15 ータル 50億円	26 3以上削減



中期経営計画 基本方針



M&Aの推進

最大600億円の投資

M&Aを推進し、トップラインのポートフォリオに変化をつける

コスト構造改善

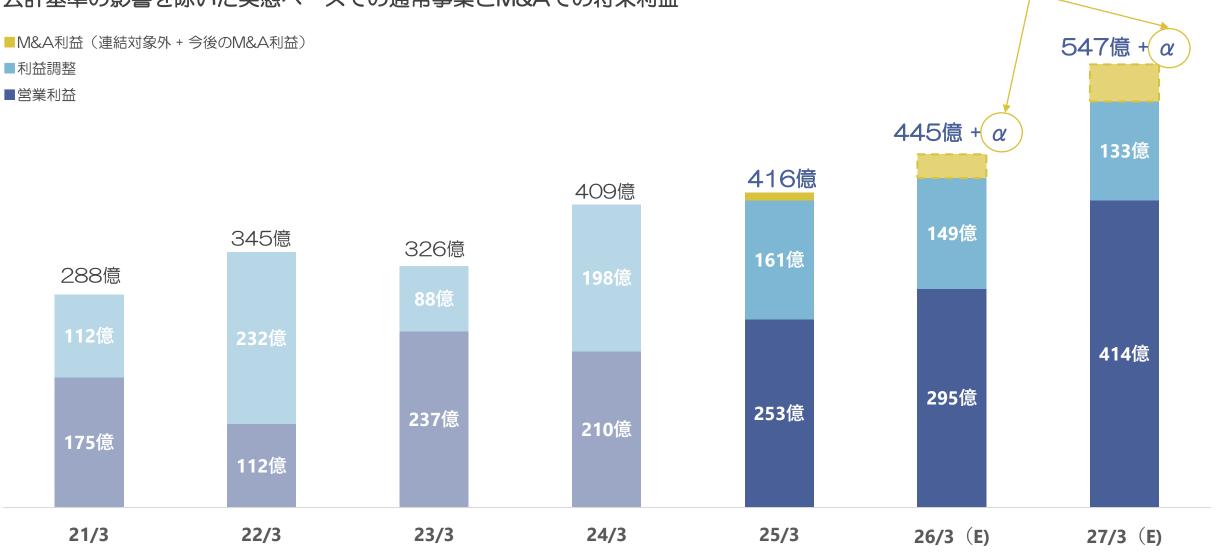
3年間で 50億円以上の削減

人員構成の見直しや社内エンジニアの 活用などによるコスト構造改革に取り組む

5 グループ各社決算概況

調整後営業利益とM&Aによる利益創出

会計基準の影響を除いた実態ベースでの通常事業とM&Aでの将来利益



計算定義:①営業利益 + ②利益調整(貸倒関連費用+利息返還関連費用+減価償却費-貸倒損失)+③M&A利益*

*M&A利益は個社営業利益(のれん償却未考慮)

6 参考資料

(連結対象外 + 今後のM&A利益)

M&A進捗

投資額最大 600億円 (25/3~27/3)

約**100** 億円

約500億円

将来利益創出に向け、M&A推進を加速

投資済



(電子マネー)



投資予定

25/5 グループイン



(SES)

M&Aのターゲット

- 親和性があり、ロールアップなどで<u>バリューアップ</u>が見込める先
- 金融事業を主軸にグループの<u>ノウハウが活用</u>できる先

国内•海外

M&A ターゲット

- ✔ ノンバンク領域全般
 - ・ローン事業 + 保証事業
 - ペイメント事業
 - その他金融事業領域

- ✔ 既存ビジネスへの親和性
 - SES事業
 - 不動産関連事業
 - ・その他親和性のある事業

コスト削減の進捗(削減計画トータル50億円)

	削減計画 (25/3-27/3)	【進捗】	【今後】
① センター部門の生産性向上	センター運営費 10億円	オペレーションのシンプル化非正社員中心のセンター運営移行中	・正社員と非正社員の比率の見直し (運営費削減)
② 債権回収の一元化	センター運営費 5億円	• グループ債権回収方針の策定	・新体制でのグループ債権回収移行 (運営費削減)
③ エンジニアの内製化	外部委託費用 15億円	・エンジニアの採用順調	システムの外部委託削減 (委託費用削減)
④ 無人店舗の廃店 (150店舗以上廃店)	店舗関連費用 20億円	• 計画以上(151店) の廃店	2年目以降も廃店を促進 (店舗関連費用の削減)

株主還元





中期経営計画(2年目/3年目)の達成確度が高まったため、

成長投資を優先しつつ、





資本政策

● あらたな成長ステージに向けて、適正な資本水準を確保しながら、将来を見据えた成長投資 に積極的に取り組むと共に、株主還元も向上させていく

成長投資(M&A)

将来を見据えた積極的な成長投資 【2025/3~2027/3】投資額 最大600億円

持続的な 企業価値向上

資本水準

自己資本でカバーすべきリスクを踏まえ 自己資本比率は15%以上を指標

株主還元

成長投資を基本としつつ、株主還元も向上 【2027/3】総還元性向 20%程度を指標

3 連結決算概況

略称

A&A

AGBS

AGCP AGMD

AGPS

AGSV

AIF

BC FPC

LC

社名 (連結)

AIRA&AIFUL

AGビジネスサポート

AGキャピタル

AGメディカル

AG債権回収

ビットキャッシュ

ライフカード

アイフル

FPC

事業内容

プリペイド電子マネー発行/電子マネー利用の電子決済サービス提供

個人向けカードローン(タイ王国)

個人向けカードローン / 信用保証

少額短期保険(ペット保険)

クレジットカード / 信用保証

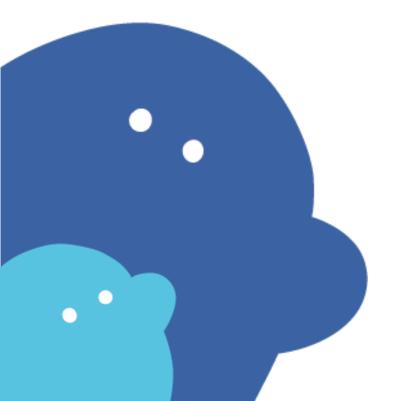
ベンチャーキャピタル

診療報酬等担保ローン

サービサー / 企業再生

AGペイメントサービス 個別信用購入あっせん / 後払い決済

事業者ローン / 不動産担保ローン / ファクタリング



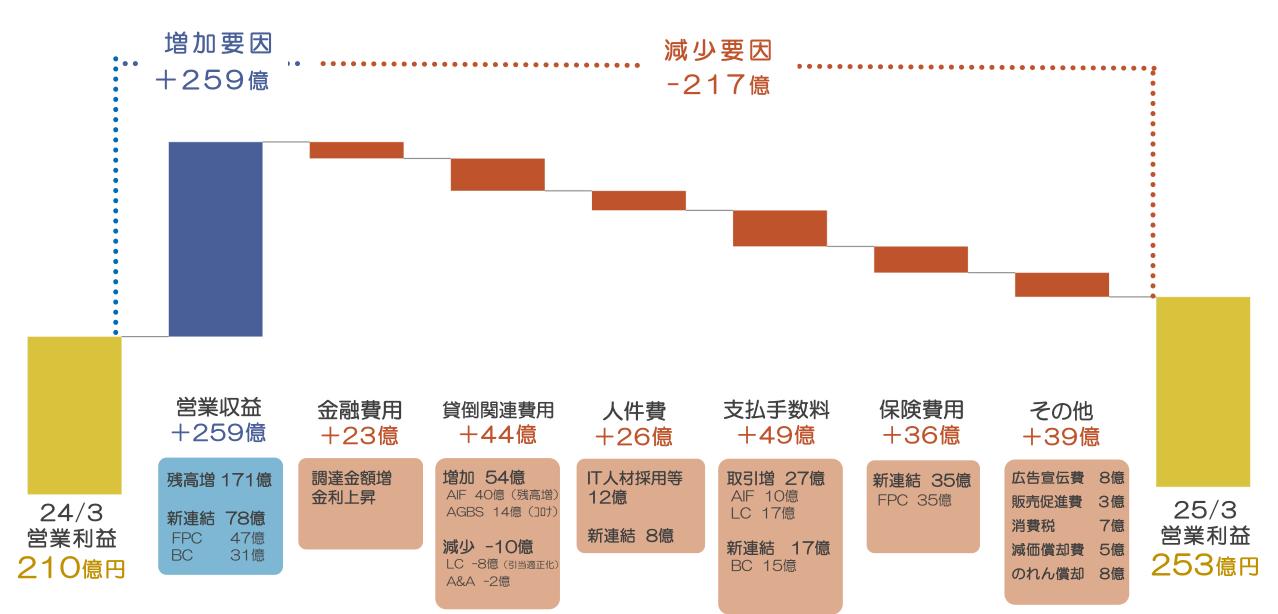
【連結】決算概要•通期計画(残高•収益)

単位:億円	23/3	24/3	25/3	前期比 増減率	26/3(E)	前期比增減率
営業債権残高	10,159	11,789	13,397	13.6%	14,930	11.4%
ローン事業 (海外含む)	6,487	7,386	8,152	10.4%	8,789	7.8%
クレジット事業 (クレジットカード・個品)	1,428	1,737	2,033	17.0%	2,368	16.5%
信用保証事業	2,034	2,411	2,916	20.9%	3,411	17.0%
その他事業	207	253	294	16.2%	360	22.2%
営業収益	1,441	1,631	1,890	15.9%	2,107	11.4%
ローン事業 (営業貸付金利息)	832	954	1,065	11.7%	1,158	8.6%
クレジット事業 (信用購入あっせん収益)	231	262	301	14.7%	346	14.8%
信用保証事業 (信用保証収益)	170	194	215	10.9%	236	9.6%
その他事業	207	220	307	39.9%	366	18.9%

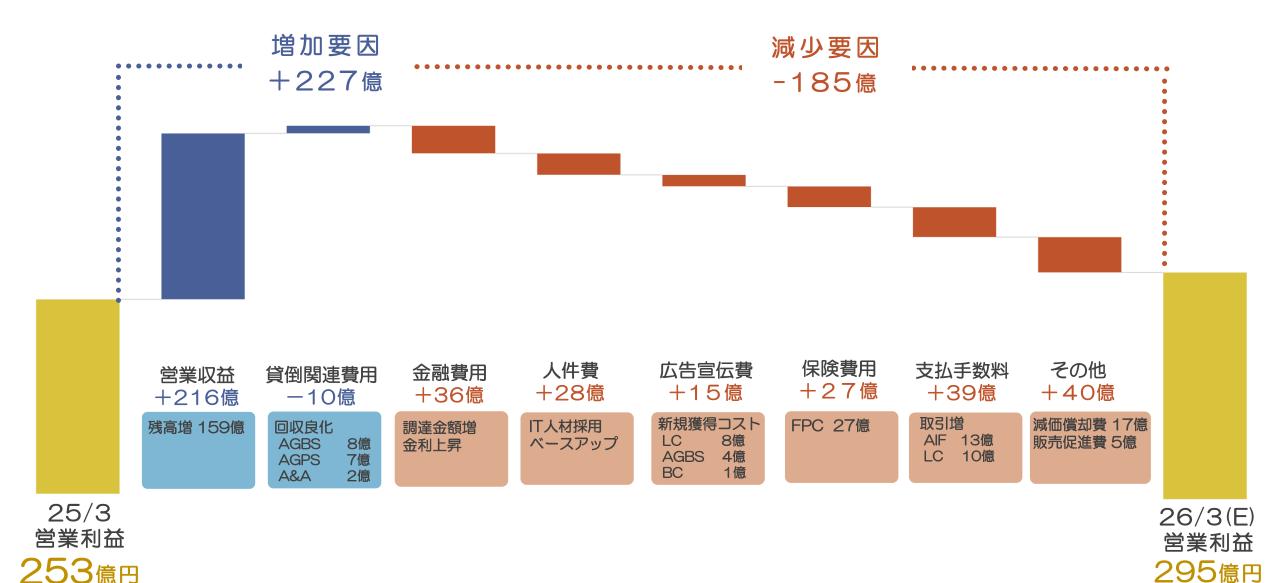
【連結】決算概要•通期計画(費用•利益)

単位:億円	23/3	24/3	25/3	前期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
営業収益	1,441	1,631	1,890	15.9%	2,107	11.4%
営業費用	1,204	1,420	1,637	15.3%	1,811	10.6%
金融費用	70	72	95	31.3%	131	37.7%
貸倒関連費用	360	525	569	8.3%	558	-1.9%
利息返還関連費用	-	-	-	-	-	-
広告宣伝費	168	177	185	4.3%	200	7.8%
人件費	173	190	216	13.6%	245	12.9%
その他費用(支払手数料・販売促進費等)	430	453	570	25.8%	675	18.3%
営業利益	237	210	253	20.1%	295	16.6%
経常利益	244	220	268	21.5%	300	11.9%
特別損失	4	6	25*	294.2%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	223	218	225	3.2%	238	5.7%

【連結】営業利益 差異要因 (2025/3期 前期比)

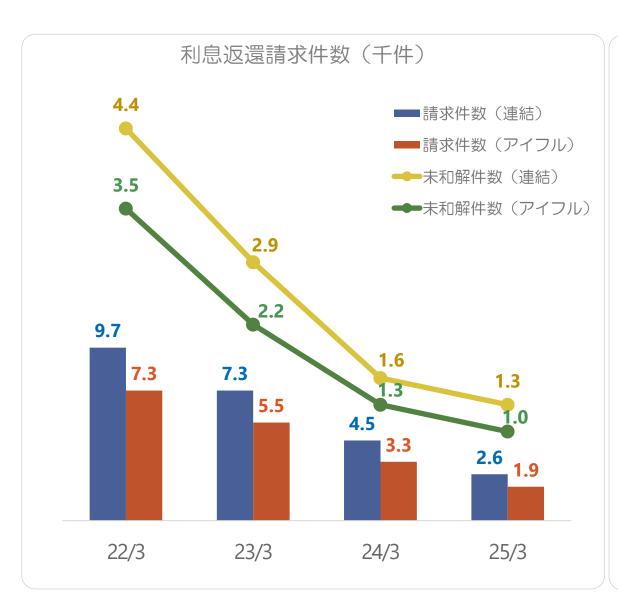


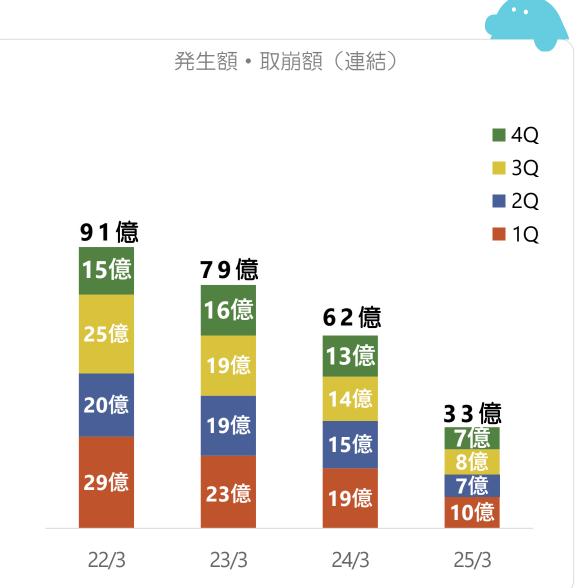
【連結】営業利益 差異要因 (2026/3期 計画比)



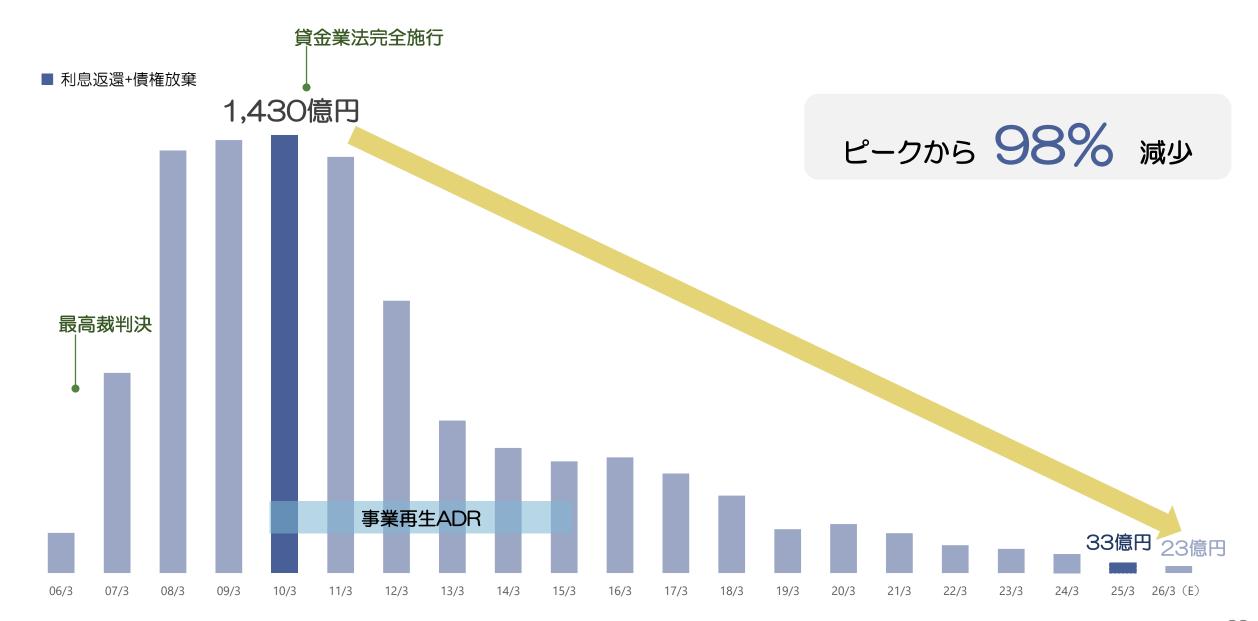
253億円

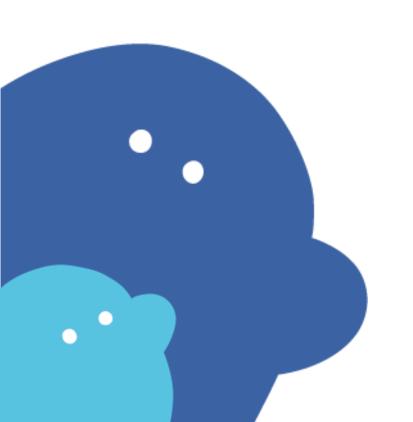
【連結】利息返還の推移(足元の状況)





【連結】利息返還の推移





4 アイフル決算概況

【アイフル】営業実績・通期計画

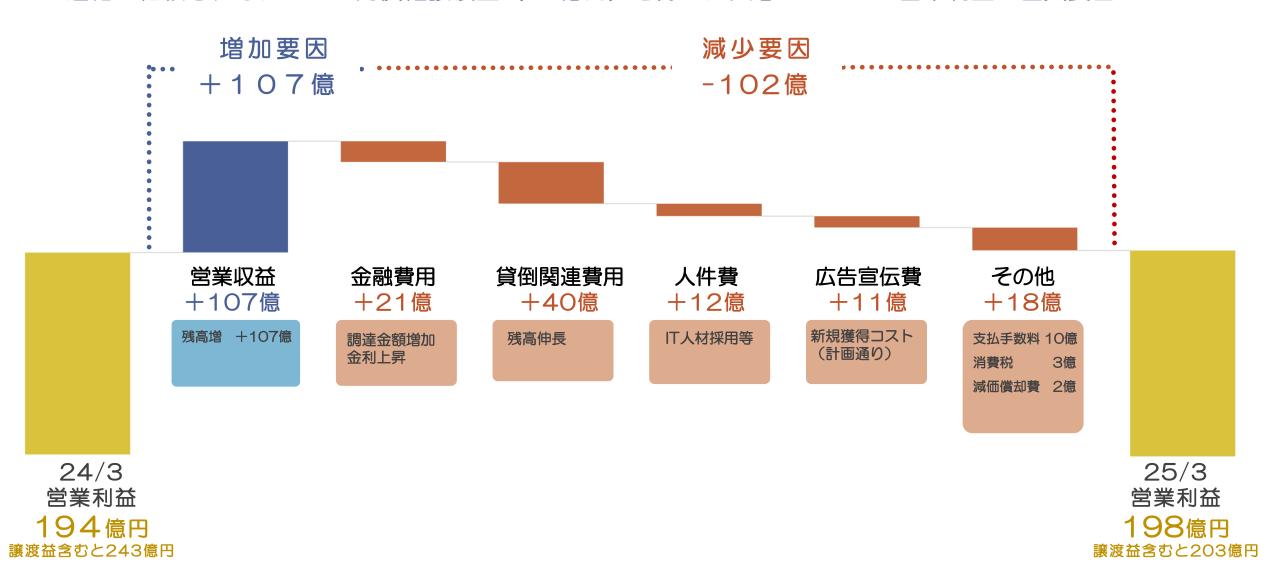
単位:百万円	23/3	24/3	25/3	前期比 増減率	26/3 (E)	前期比增減率
営業債権残高	691,689	790,608	894,844	13.2%	994,200	11.1%
ローン事業	502,874	562,913	614,222	9.1%	662,400	7.8%
信用保証事業	176,821	213,020	263,613	23.8%	312,700	18.6%
貸付量	235,057	275,780	290,549	5.4%	-	-
新規顧客	44,394	50,315	49,554	-1.5%	-	-
既存顧客	190,661	225,465	240,995	6.9%	-	-
貸倒損失額	21,795	24,696	28,388	15.0%	30,600	7.8%
貸倒率	3.2%	3.1%	3.2%	0.1 <i>Pt</i>	3.1%	-0.1Pt

【アイフル】決算概要・通期計画

	単位:百万円	23/3	24/3	25/3	前期比 増減率	26/3 (E)	前期比 増減率
営業	収益	88,449	103,867	110,158	6.1%	119,000	8.0%
	ン事業(営業貸付金利息)	67,596	76,323	85,603	12.2%	92,500	8.1%
信月	月保証事業(信用保証収益)	12,447	14,397	16,198	12.5%	18,200	12.4%
AG	SVへの債権譲渡益[連結相殺対象]	166	4,892	492	-89.9%	1,000	103.3%
その	D他営業収益	8,240	8,254	7,863	-4.7%	7,200	-8.4%
営業	費用	69,322	79,527	89,766	12.9%	99,000	10.3%
金鬲	蚀費用	5,245	5,306	7,392	39.3%	10,800	46.1%
貸留	到関連費用	22,406	31,172	35,174	12.8%	36,200	2.9%
広岩	5宣伝費	14,097	13,937	15,007	7.7%	14,900	-0.7%
人作	丰費	9,723	10,690	11,932	11.6%	13,900	16.5%
その	D他費用	17,849	18,421	20,259	10.0%	23,000	13.5%
営業	利益	19,127	24,339	20,391	-16.2%	19,900	-2.4%
経常	利益	32,213	27,147	23,996	-11.6%	24,200	0.8%
特別	引損失	_	606	3,144*	418.5%	-	_
当期	純利益	31,028	24,998	19,562	-21.7%	20,300	3.8%

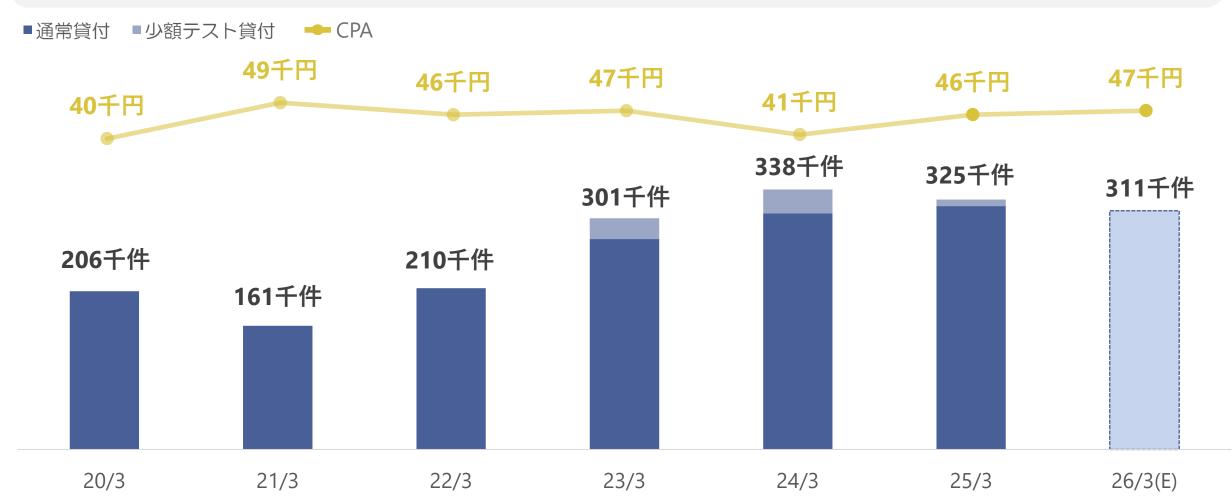
【アイフル】営業利益 差異要因(グループ内債権譲渡除く)(2025/3期前期比)

● 連結で相殺されるグループ内債権譲渡益(44億円)を除いた実態ベースでの営業利益の差異要因



【アイフル】個人向け無担保ローン事業/新規獲得とCPAの相関

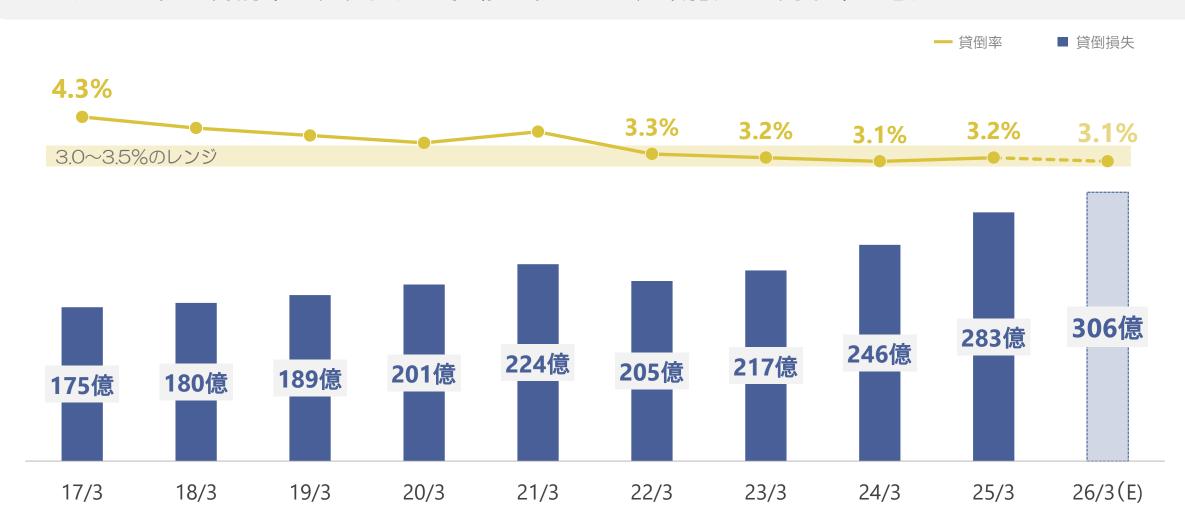
- 2024年9月で少額テスト貸付を終了、新規件数は年間30万件超と堅調
- 1件あたりの獲得単価(CPA)も想定通りに推移



※当期より、CPAは発生ベース実績記載

【アイフル】貸倒損失

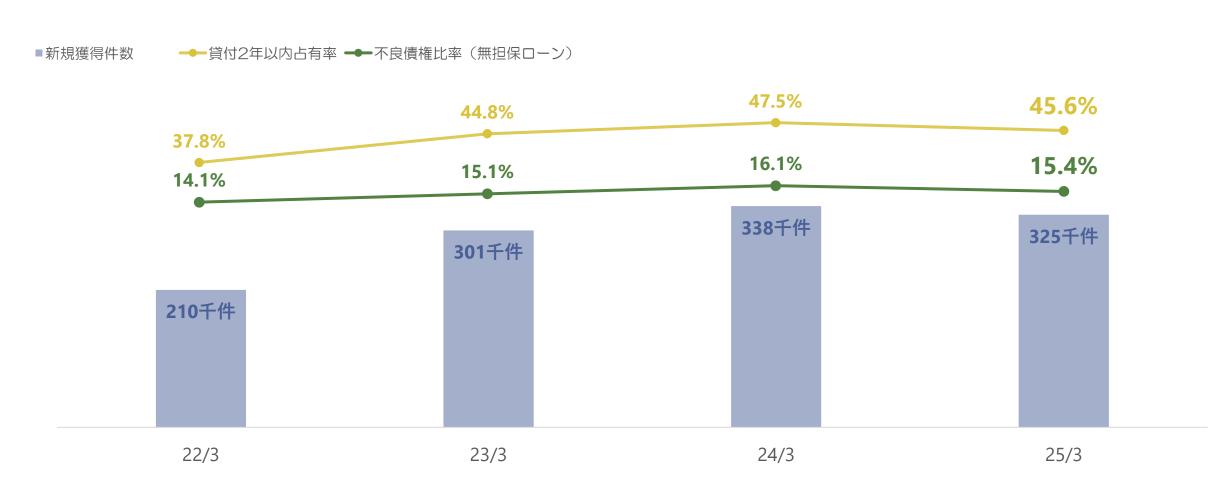
- 貸倒率は過去、4%前半から徐々に低下
- 足元では、3%前半と低位安定で推移し、2026/3期計画も同水準を想定



【アイフル】貸倒関連費用(補足)

- 新規獲得件数が年間30万件超と堅調に推移
- 延滞になりやすい取引の浅い債権*の占有が低下し、不良債権比率が低下

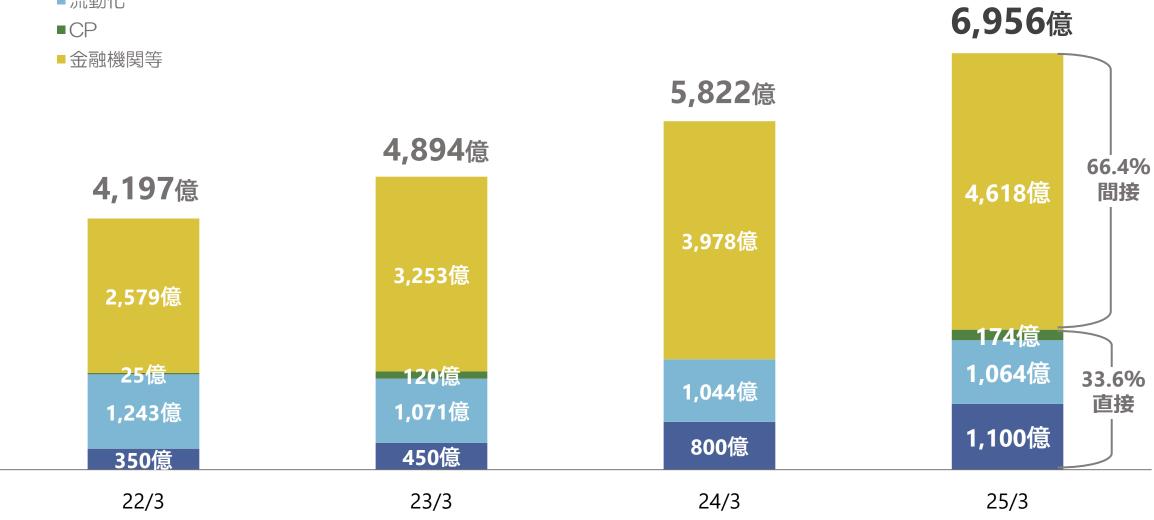
*取引の浅い債権とは貸付2年以内の債権を指す



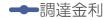
【アイフル】資金調達金額



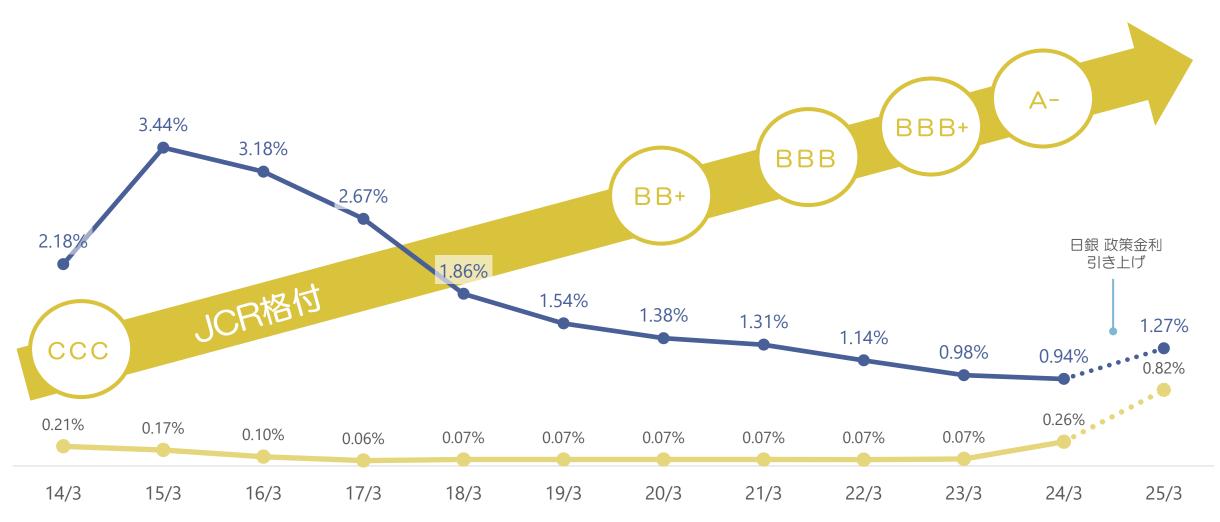
■流動化

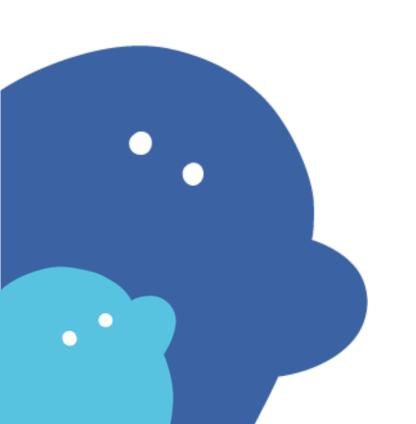


【アイフル】資金調達金利推移



→TIBOR (3カ月)





5 グループ各社決算概況

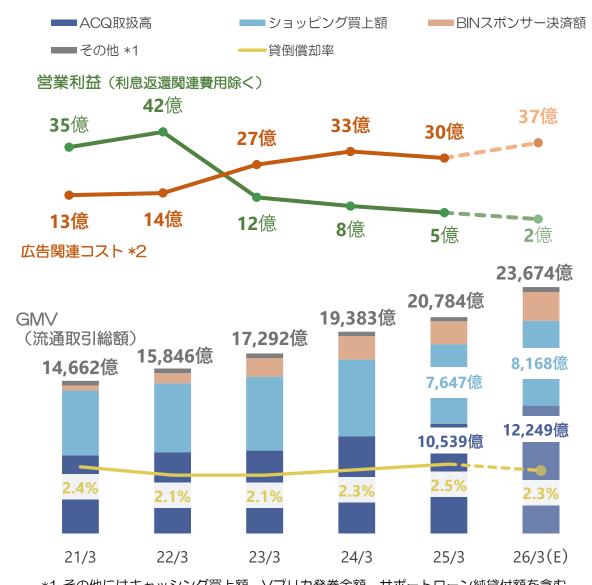
【ライフカード】決算概要(クレジット事業)

● 新規提携カードの開始等により新規発行枚数が増加

1 トップメッセージ

● 認知を含むプロモーション投資を継続し、GMV拡大を図る

単位:百万円	23/3	24/3	25/3	前期比增減率	26/3 (E)	前期比增減率
新規発行枚数(千枚)	478	465	516	11.1%	-	-
プロパーカード 稼働会員数 (千人)	591	580	573	-1.2%	-	-
プロパーカード 稼働率	42.9%	42.3%	41.8%	-0.5pt	-	-
営業収益	35,711	37,714	38,545	2.2%	41,600	7.9%
営業利益	1,296	861	592	-31.3%	200	-66.2%
経常利益	1,419	947	682	-28.0%	200	-70.7%
当期純利益	911	363	772	112.3%	200	-74.1%



6 参考資料

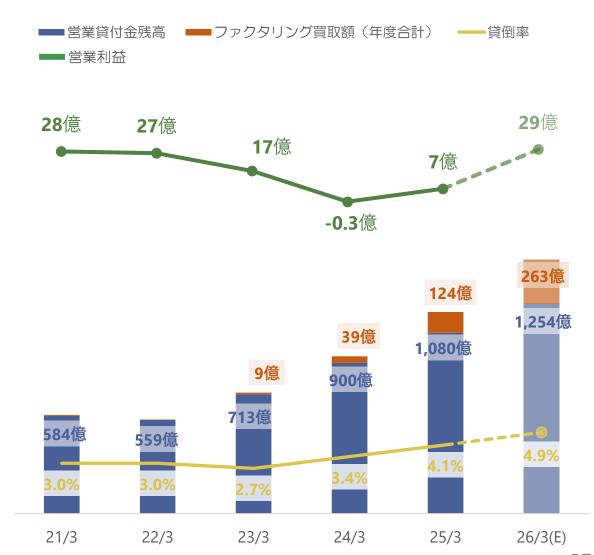
【AGビジネスサポート】 事業性金融(有担保・事業性ローン/ファクタリング)

● 残高増加・ファクタリング拡大により、増収・増益を達成

1 トップメッセージ

● 堅調なローンに加え、ファクタリングを推進し、更なる利益水準の向上を図る

単位:百万円	23/3	24/3	25/3	前期比增減率	26/3 (E)	前期比增減率
営業貸付金残高	71,364	90,019	108,009	20.0%	125,400	16.1%
新規獲得件数(件)	7,432	10,010	10,348	3.4%	-	-
口座数(千件)	29	34	39	14.5%	-	-
営業収益	7,732	10,310	13,285	28.9%	16,300	22.7%
ローン収益	4,760	6,615	8,274	25.1%	-	-
ファクタリング収益	48	294	1,030	250.4%	-	-
営業利益	1,798	-38	734	-	2,900	294.7%
経常利益	1,808	-41	746	-	2,900	288.3%
当期純利益 診療報酬等担保ローン事業	1,131	-307	534	-	1,700	218.0%



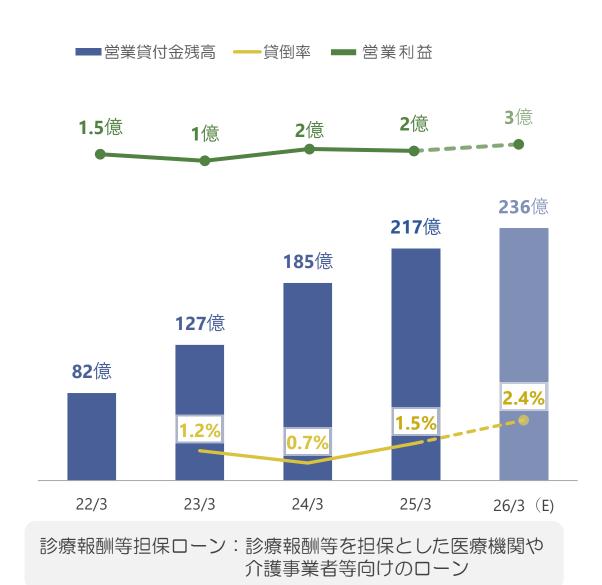
【AGメディカル】事業性金融(診療報酬等担保ローン)

● 好調な新規獲得により営業貸付金残高が拡大

1 トップメッセージ

● 堅調な資金ニーズを背景に残高拡大と増収・増益を図る

単位:百万円	23/3	24/3	25/3	前期比增減率	26/3 (E)	前期比增減率
営業貸付金残高 (有担保ローン)	12,793	18,524	21,756	17.4%	23,600	8.5%
新規獲得件数(件) (有担保ローン)	303	387	422	9.0%	424	0.5%
口座数(件)	685	971	1,239	27.6%	-	-
営業収益	892	1,358	1,772	30.5%	2,000	12.9%
営業利益	57	235	279	18.6%	300	7.2%
経常利益	57	234	279	19.1%	300	7.5%
当期純利益	17	150	143	-4.9%	200	39.6%



【AGペイメントサービス】個別信用購入あっせん事業/後払い事業

● 割賦売掛金の急成長を背景に、大幅に増収・増益

1 トップメッセージ

● 加盟店の拡大により収益基盤の強化と残高拡大を図る

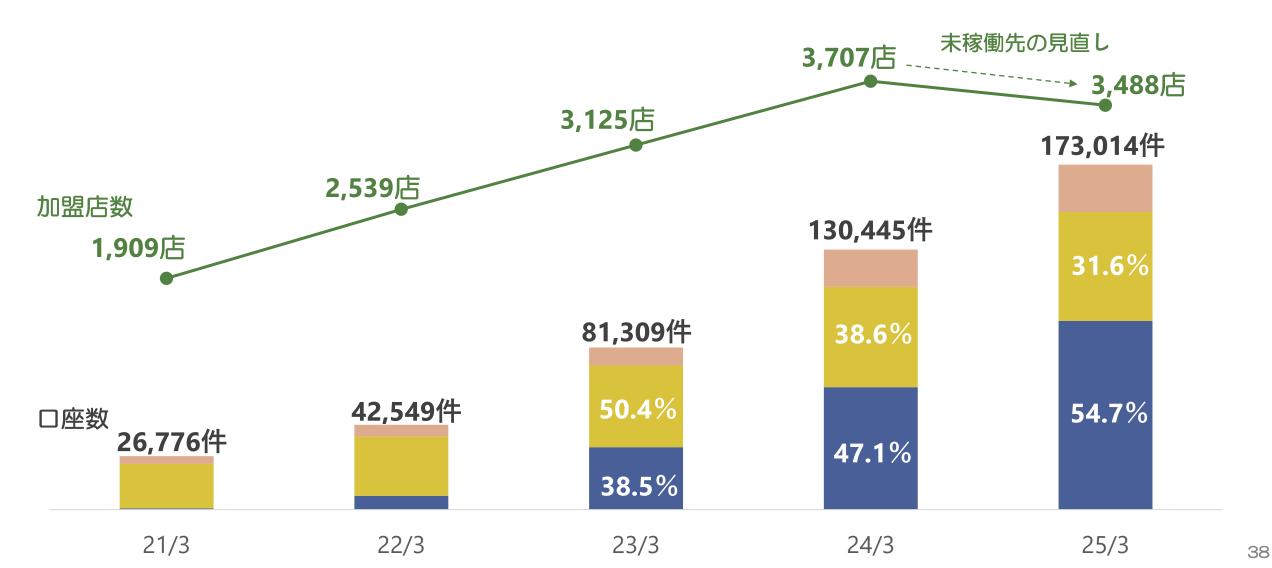
単位:百万円	23/3	24/3	25/3	前期比增減率	26/3 (E)	前期比增減率
割賦売掛金残高 (個別信用購入あっせん)	35,494	61,902	87,699	41.7%	113,400	29.3%
買上 (後払い決済)	19,102	12,898	9,069	-29.7%	-	-
営業収益	3,568	5,435	7,806	43.6%	9,900	26.8%
営業利益	-271	-67	1,856	-	3,800	104.6%
経常利益	-258	-63	1,858	-	3,800	104.5%
当期純利益	-519	-833	1,286	-	2,700	109.9%

■割賦売掛金残高 ——貸倒率(個品) ===営業利益 38億 18億 1,134億 2億 1億 -0.6億 -2億 876億 619億 1.7% 354億 1.7% 1.7% 147億 80億 0.4% 21/3 22/3 23/3 24/3 25/3 26/3(E) 37

2024年1月にAGギャランティーとAGミライバライが合併、AGペイメントサービス に名称変更過去実績は、合併ベースで表記

【AGペイメントサービス】加盟店数と口座数の推移

■美容医療■エステ■その他



【ビットキャッシュ】プリペイド式電子マネー事業

- 2Qから連結取込、連結対象は2024年7月-2025年3月の9カ月実績
- カード販売額・決済額の拡大を図る

1 トップメッセージ

					連結対象			→一カード販売額 →一営業利益
単位:百万円	23/3	24/3	25/3 (12M)	前期比增減率	25/3 7月-3月 (9M)	26/3(E) (12M)	前期比增減率	18億
カード販売額	60,785	51,975	45,196	-13.0%	33,470	50,700	12.2%	15億 12億 13億
決済額	60,213	51,594	45,319	-12.2%	33,593	50,300	11.0%	利空コログ 巣ごもり需要
営業収益	5,488	5,005	4,254	-15.0%	3,142	4,700	10.5%	513億 519億 451億
受取手数料	4,945	4,222	3,830	-9.3%	2,835	-	-	
営業利益	1,832	1,748	1,211	-30.7%	886	1,300	7.3%	
経常利益	1,595	1,740	1,220	-29.8%	886	1,300	6.5%	
当期純利益	861	1,176	785	-33.2%	582	800	1.8%	21/3 22/3 23/3 24/3 25/3 26/3(E

【AIRA&AIFUL】個人向けローン事業(タイ王国)

- コロナ影響・経済環境の悪化影響による貸倒関連費用の増加により減益
- 利益改善に向け、人員・店舗の削減による固定費削減・優良顧客中心の貸付を推進

単位:百万円 (百万バーツ)	23/3	24/3	25/3	前期比 増減率	26/3 (E)	前期比增減率
営業貸付金残高	29,343 (7,722)	35,547 (8,607)	39,864 (8,591)	12.1 % (-0.2%)	34,300 (7,800)	-3.5% (-9.2%)
新規獲得件数(件)	50,570	43,508	43,103	-0.9%	-	-
口座数(千件)	356	304	291	-4.4%	-	-
営業収益	7,080 (1,888)	8,269 (2,046)	8,395 (1,952)		8,400 (1,900)	0.0% (-2.7%)
営業利益	134 (35)	-1,383 (-342)	-1,175 (-273)	-15.0% (-)	-600 (-130)	-
経常利益	127 (34)	-1,368 (-338)	-1,171 (-272)	-14.3% (-)	-600 (-130)	-
当期純利益	127 (193)	-1,087 (-269)	-1,034 (-240)	- 4.9 % (-)	-800 (-180)	-

※A&Aは12月期決算のため、通期累計期間は1月~12月の実績

1 トップメッセージ

※為替レートB/S: 23/3 3.80円、 24/3 4.13円、25/3 4.64円、26/3 (E) 4.40円(タイバーツ)P/L: 23/3 3.75円、 24/3 4.04円、25/3 4.30円、26/3 (E) 4.42円

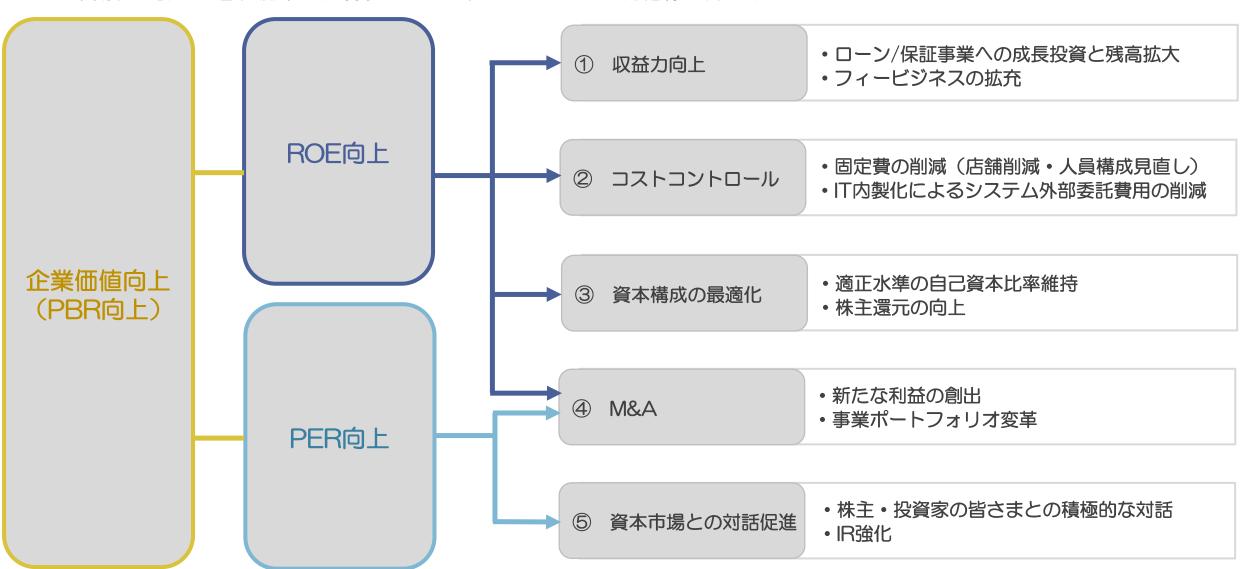




6 参考資料

企業価値向上に向けた取り組み

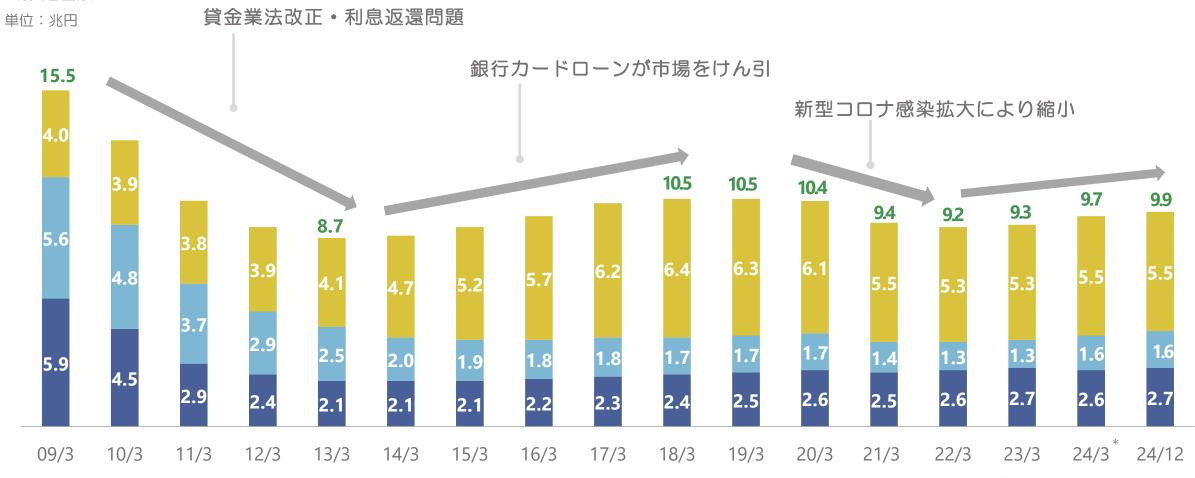
● 中期経営計画の各種施策を実現することで、ROEとPERの両指標を向上させる



無担保ローン市場



- ■クレジットカード
- ■消費者金融

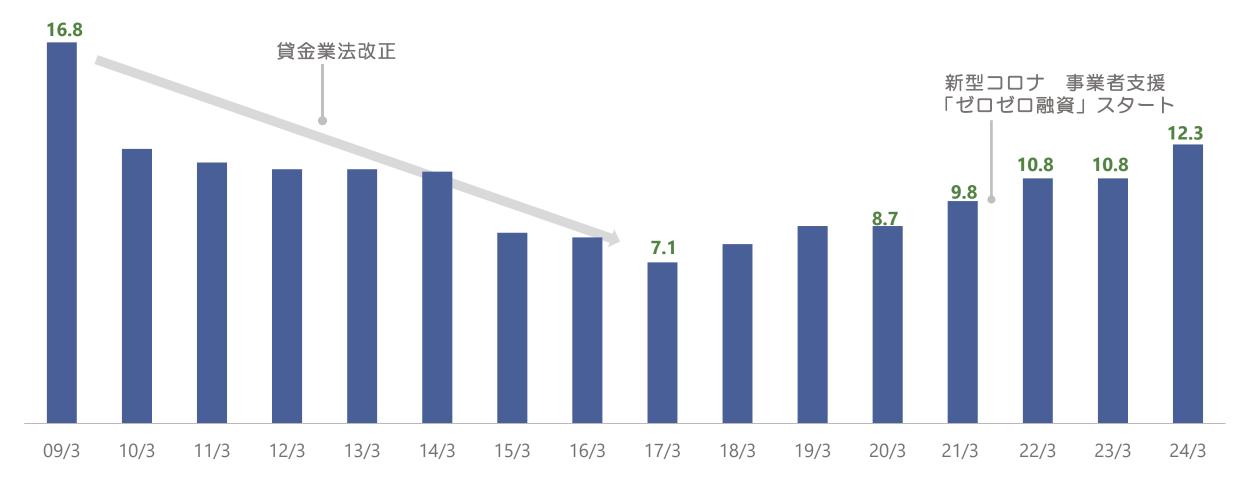


*2023/7 約3,000億円の残高を保有する消費者金融業者がクレジットカード業態に移行

出典:消費者金融・クレジットカード:日本貸金業協会統計、金融機関:日本銀行統計(国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高)

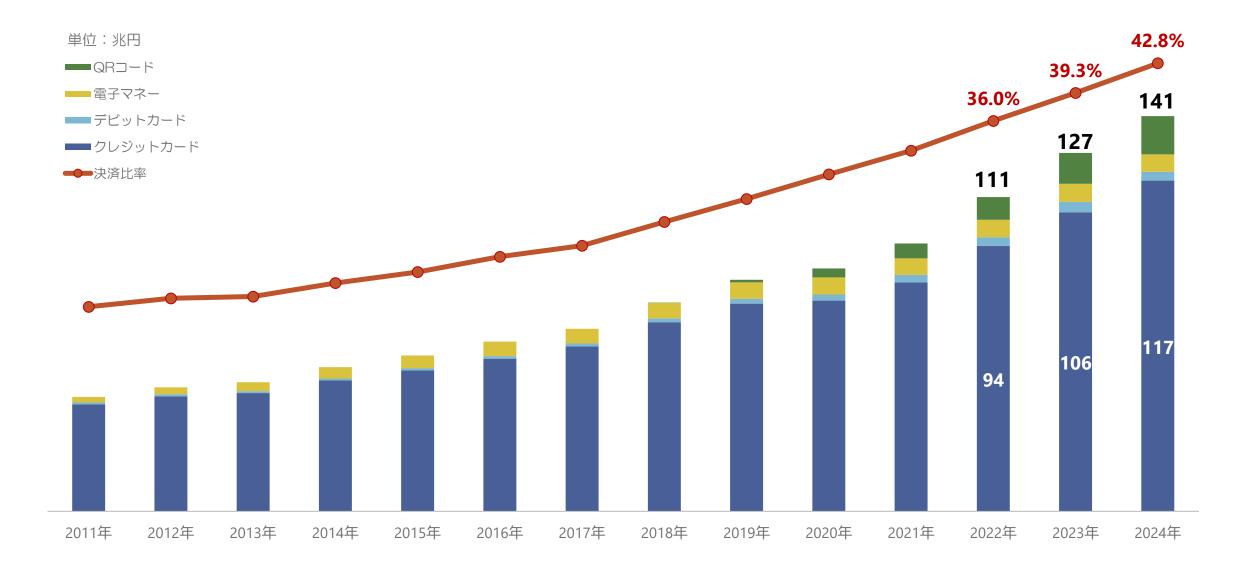
事業者ローン市場

単位: 兆円



出典:金融庁 事業性金融貸付残高

キャッシュレス市場



出典:経済産業省HP

トップメッセージ

2 中期経営計画進

3 連結決算概況

4 アイフル決算概況

アイフルグループの事業

グループ全社一丸となって、全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造を図る

ローン・保証



事業者ローン

※ AG メテ"ィカル※ AG ヒ"シ"ネスサホ°ート

クレジット・電子マネー



G BitCash

個別信用購入斡旋・後払い決済

※ AG へ°イメントサーヒ"ス

クラウドファンディング

≫ AG クラウト"ファンテ"ィンク"

ベンチャーキャピタル

※ AG キャヒ°タル

サービサー

🤏 AG 債権回収

企業再生

※ AG ハ°ートナース"

リースバック・家賃保証

※ AG 住まいるリースハ"ック



少額短期保険事業



システム・エンジニアリング・サービス

AG ソリューションテクノロシー(中間持株会社)







海外





(タイ王国) (インドネシア共和国)

(フィリピン共和国)

一本資料に関する注意事項ー

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。

